

【フィリピン 経済】

エコプロダクツ国際展開催 マニラで3月、展示企業を募集

アジア最大級の国際環境展示会「第5回エコプロダクツ国際展」が来年3月、フィリピンで開かれる。主催は東京に本部がある国際機関APO（アジア生産性機構）今年12月末までに展示企業の申し込みを受け付ける。開催期間中は環境分野の著名人を招待し、講演やパネルディスカッションを行う予定。約10万人の来場を見込んでいる。

会場は首都圏パサイ市にあるSMXコンベンションセンター。開催期間は来年3月19～22日。

環境に配慮した家電や自動車などの「エコプロダクツ」から、クリーン開発メカニズム(CDM)、エコツーリズムといった「エコサービス」、風力・太陽光発電、バイオマスなどの「環境技術・ビジネス」、企業の社会的責任(CSR)、自然保全・再生といった「環境への取り組み」まで出展対象は幅広い。

出展スペースは広さ9平方メートルの「パッケージブース」(出展料2,500米ドル)と、これより広い「スペース渡し」(最低18平方メートル、出展料は1平方メートル当たり280米ドル)の2種類がある。

コンベンションセンターの延べ床面積は2万平方メートルで、1階部分はパッケージブースにして444ブース相当の展示が可能。2階部分は3分の2が展示スペース(189ブース相当)となり、残り

は国際会議場、商談のための会議室などに充てる予定だ。

申込受け付けは12月26日、出展料の支払い期限は来年1月30日。今年12月19日に東京で出展者を対象にした説明会を開き、会場レイアウトや開催期間中のプログラム、通関やホテルなどのサポートなどについて説明する。

日本から特別講演も

エコプロダクツ国際展は2004年から計4回、マレーシア、タイ、シンガポール、ベトナムで開催された。今年3月にベトナムで開催された展示会の出展者数は91社・団体で、このうち日系企業は28社・団体だった。入場者数は年々増えており、ベトナムでは約10万人を数えた。フィリピンでも同程度の入場者を見込む。

来年3月19、20日の2日間は企業間取引(B to B)を対象にした国際会議を開く。環境問題に積極的な日本企業首脳を招いての特別講演、国際グリーン購入ネットワーク(IGPN)会長を務める東京大学の山本良一教授やアジアの政官学のキーパーソンを参加者に迎えてのパネルディスカッションなどを予定している。

3月21、22日は一般来場者向けにフィリピンの著名人による講演を計画しているという。



～ アジア最大級の国際環境展示会・国際環境会議をマニラで開催！～

詳しい情報は ▶▶▶ <http://www.epif09.org>

- ◆ 国を代表するキーパーソンや主要企業トップが集結
- ◆ 国家プロジェクトから企業間取引まで、多面的なビジネスマッチング
- ◆ 一般市民・消費者への効果的な環境ブランド戦略

[会期] 2009年3月19日(木)～22日(日)
 [会場] マニラ・SMXコンベンションセンター
 [主催] 国際機関APO(アジア生産性機構)
 フィリピン生産性本部(DAP)
 フィリピン産業界環境支援組織(PBE)
 [申込締切] 2008年12月26日

● お問合せ：(株)ファーストマーケティング協力6部
 担当：元井、数原、アキノ
 TEL：+81-3-3545-9811
 E-mail：epif@the-first.co.jp
 ● 主催者：国際機関APO(アジア生産性機構)工学部
 担当：宮川、後藤、中川
 TEL：+81-3-5226-3925
 E-mail：epif@apo-tokyo.org

フィリピン政府、当国際展の全面協力を約束



フィリピン・アロヨ大統領(右)、当国際展準備委員会・北山委員長(中)、APO・竹中事務総長(左)